

## 2019年度 苫小牧市立中央図書館サービスアンケート 実施結果報告

いつも図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

まだ寒さが残っておりますが、日中の日差しには春を感じる今日この頃です。

さて、今回のアンケートは「図書館でのイベント（事業）」「ボードゲーム」について皆さまにお伺いし、多くの皆さんからご回答いただきました。ご協力ありがとうございます。御礼にかえて、以下のとおり集計結果をお知らせします。

アンケートの中で把握したお客様の傾向／ニーズは随時、今後のこの図書館の運営に反映させていただきます。

### アンケート実施概要

実施期間 2020年2月22日（土）～3月3日（日） 11日間

実施目的 

- ・中央図書館でのイベント（事業）の参加状況、認知度の把握
- ・ボードゲームについての意識調査

実施方法 窓口にて用紙配布～館内設置の投函箱で回収

配布枚数 154枚

回収枚数 128枚（回収率 83.1%）

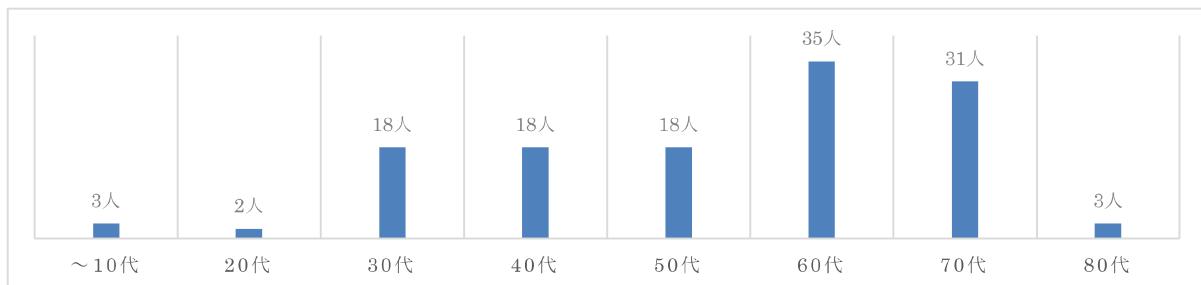
結果告知 

- ・館内における掲示、及び閲覧用ファイルの設置
- ・図書館HP上の公開

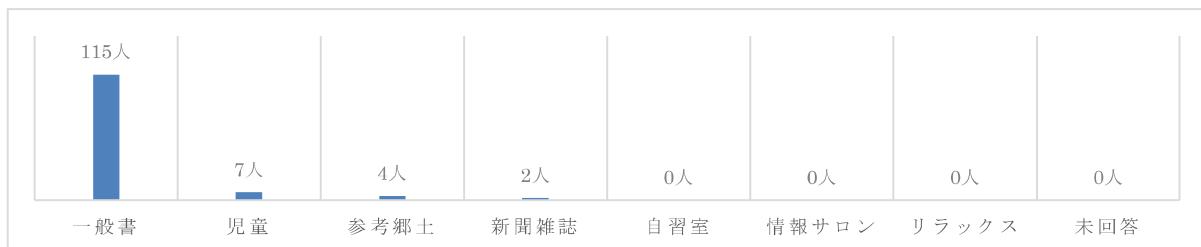
※今回、新型コロナウイルス感染拡大に伴う来館者の自粛および臨時休館のため配布枚数減・回収期間短縮などにより、サンプリング数が著しく少ない数となっております。

## 1 データ属性

### (1) 年代



### (2) 利用場所

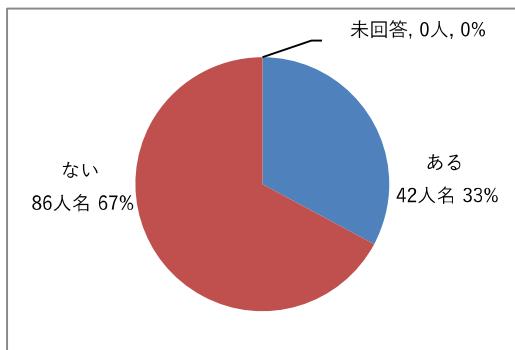


今回「男女共同参画社会」の実現を進めるため、性別の問い合わせませんでした。さらに新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となり当初の調査期間より短縮、配布も154枚と大幅に減少しました。抽出数の少ない中での分析となります。年代を見ると例年通り60代→70代→50代の順でご高齢の方の利用が全体の56%となっており、10代、20代、が少ない結果でした。利用場所は一般書が圧倒的に多いようです。あらためてYA世代への利用促進が課題という状況が見えてきました。

## 2 調査本編

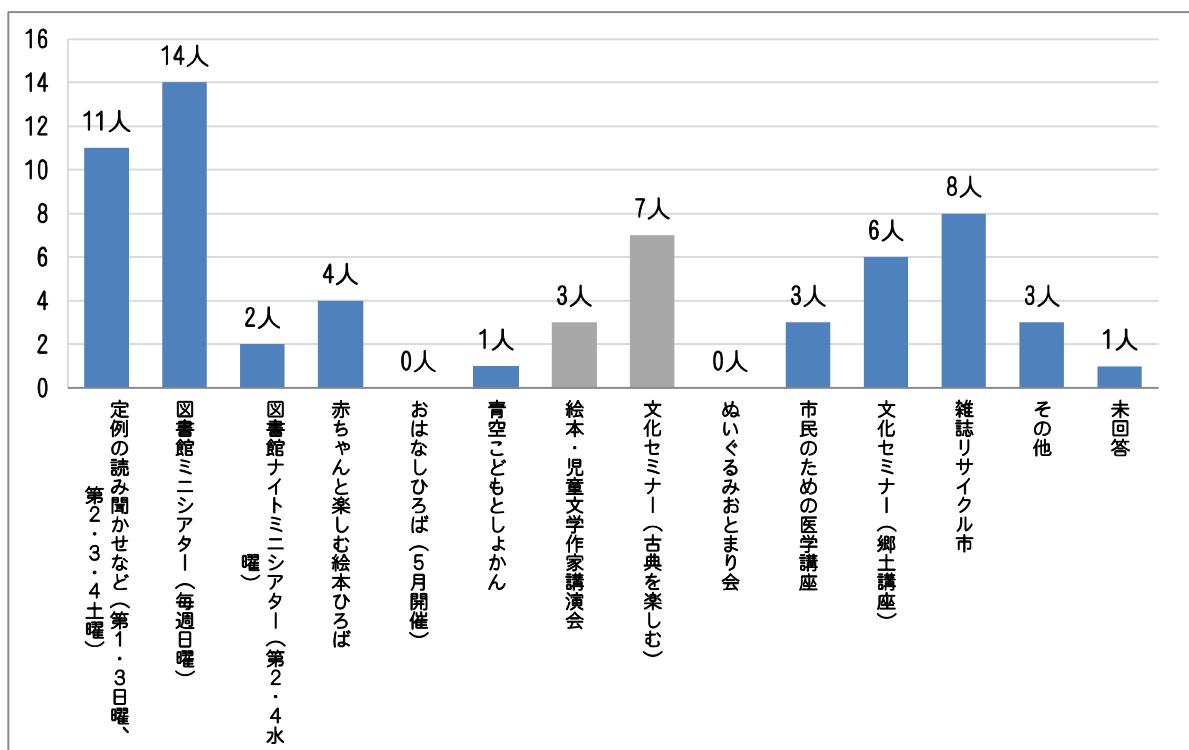
### A 図書館内のイベント（事業）に関してお答えください

#### ー1 中央図書館のイベント（事業）に参加したことはありますか？



今回の調査ではイベントに参加されている方が33%となっており前年度調査より6%上昇しています。参加される方は着実に増えています。単に本を読む場所としての図書館から多様な情報を発信する場へと変化しつつあることかと思います。さらに魅力あるイベントの企画を考え実施していきたいと思います。

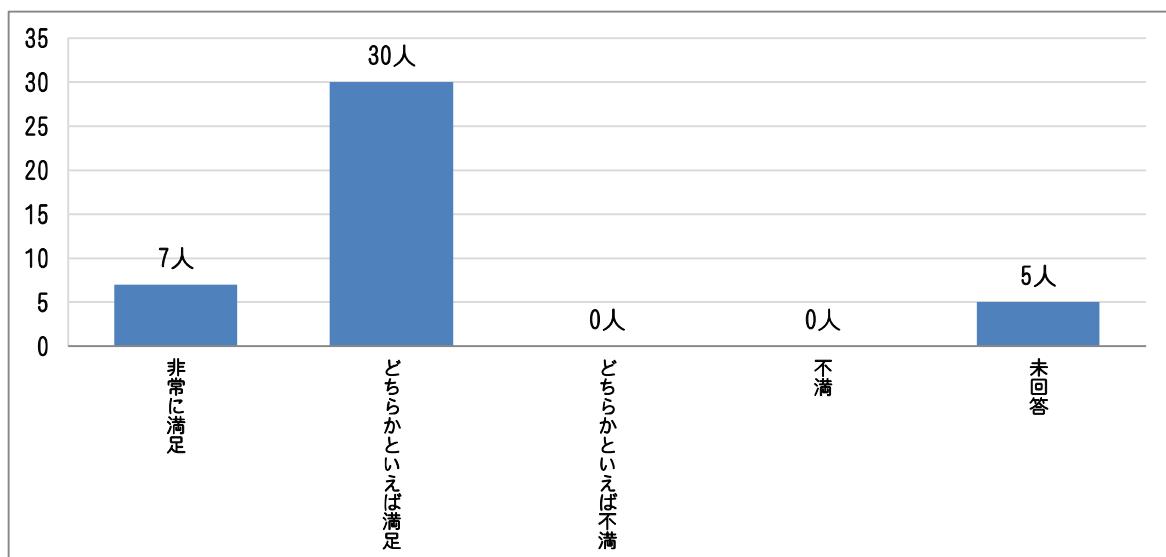
—2 どのようなイベント（事業）に参加されましたか？（複数回答可）



その他（3人）

- ・みつろうのキャンドルづくり
- ・図書館に1泊
- ・偉人、有名人の人形を製作されている方のお話を聞きました

—3 イベント（事業）に参加された感想をお聞かせください。

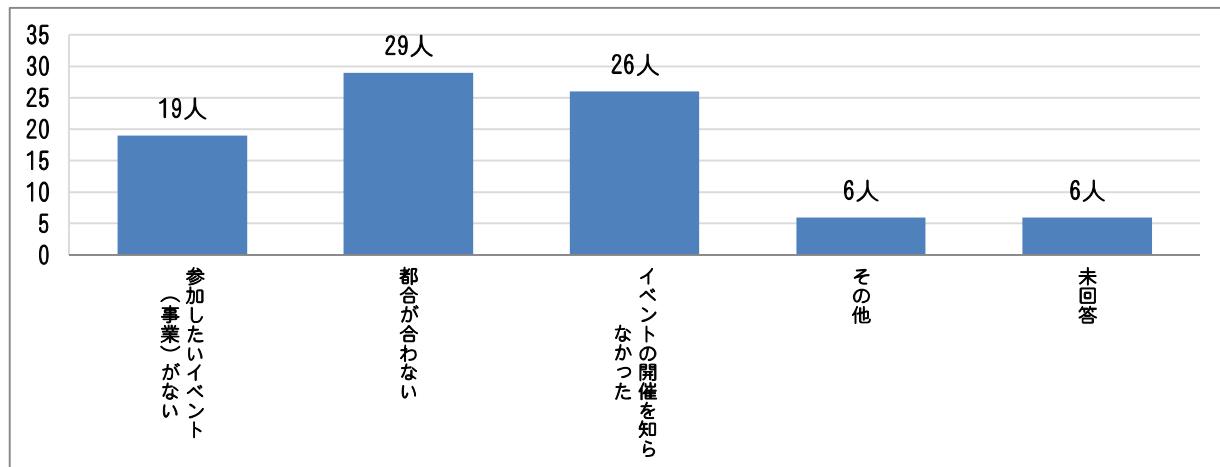


—4 A-3で③どちらかといえば不満、④不満とお答えいただいた方にお聞きします。

どのような点が不満だったかお聞かせください。(自由記入)

- ・記載なし

—5 A-1で②いいえとお答えいただいた方にお聞きします。理由についてお聞かせください。



その他（6人 ※空欄あり、重複は統一）

- ・あまり興味がない（2名）
- ・時間がない
- ・勤務のため

どのイベントに参加したかとの問いには「図書館ミニシアター」「読み聞かせ」「雑誌リサイクル市」「文化セミナー」の順でした。以前から継続して実施しているイベントで根づよい人気があるようです。イベントに参加された方の満足度は88%と高い割合で主催者としては励みになる結果でした。しかしながら「参加したいイベントがない」「都合が合わない」「開催を知らなかった」なども多く、イベントの中身、日程、そして広報などを再度検討する必要性を感じました。

—6 あなたは図書館のイベント情報などをどこから得ていますか？一つだけお選びください。

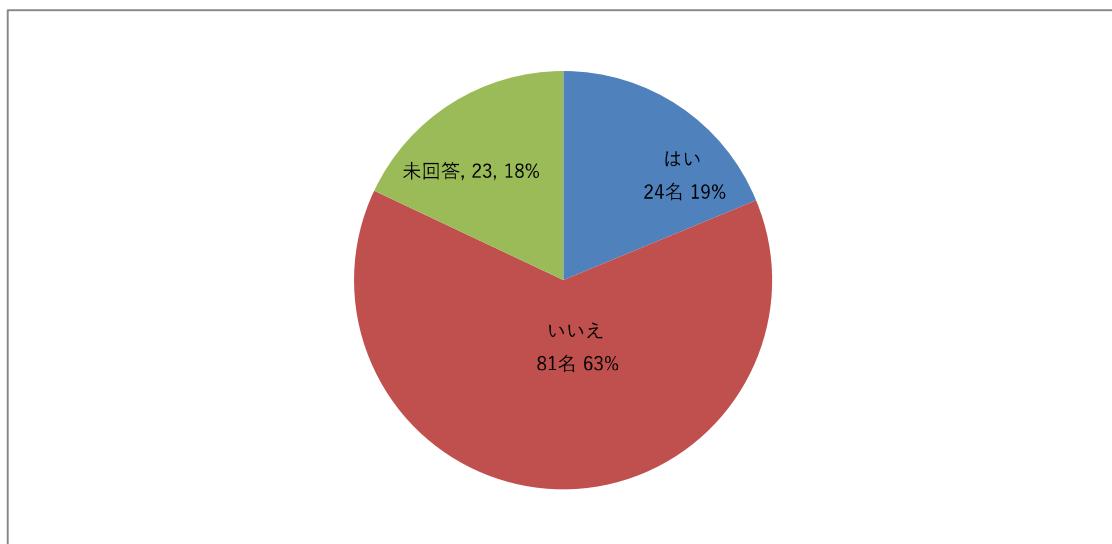
—7 図書館イベントへ参加しやすい曜日を一つだけお選びください。

—8 図書館でどんなイベント（事業）をやってほしいですか？（自由記入）

## B ボードゲームについてお聞かせください

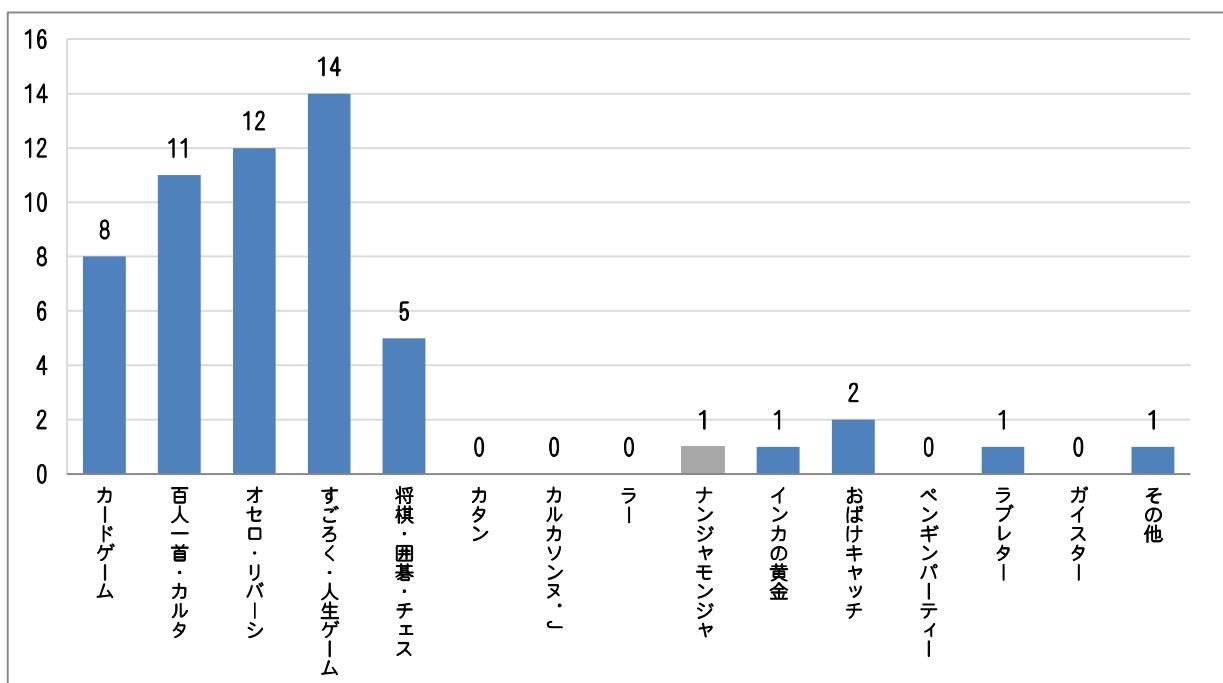
---

—1 図書館でボードゲームのイベントを開催したら参加してみたいと思いますか？



—2 B-1で① はい とお答えいただいた方にお聞きします。以下のなかで知っている、

遊んでみたいゲームがありましたらお教えください。(複数選択可)



最近、全国各地で「ボードゲーム」を開催する図書館が増えています。今回、YA世代への利用促進、世代間交流を目的として、当館でも実施を検討したくアンケートを取りました。参加したいかとの問い合わせには「いいえ」が81%と高い数値となりました。ただし「ボードゲーム」に馴染みの少ない方が多かったかと推測しております。実際の開催前に「ボードゲーム」の周知を図るため館内での関連展示を行うなど認知度を高めたいと思います。

## サービスアンケート自由意見 （今回は1人のみご記入いただきました）

アイデア・ご意見・ご要望など	
1 古い映画です。出来るだけ上映に期待しています。 ①「狂熱の孤独」クルトユ・ルゲンス・ミシェルモルガン ②ソ連時代の世界発のカラー映画です。タイトルは「石の華」です。 決定しましたら苦小牧民報で知らせてください。	上映映画のリクエストありがとうございます。ご希望の作品について選定の検討材料とさせていただきます。なお苦小牧民報へのお知らせ掲載は出来ません。来館の際にスタッフにお問合せください。

## 令和元年度 苫小牧市立中央図書館 事業紹介(新聞記事から)

来館呼び掛けの職員

中央図書館 来館95周年記念展示

来館呼び掛けの職員

北海道の「支那」、「三郎の風」、「夢なれどの魔術」など、佐藤翠さんの版画が並ぶ。研究の一書も複数用意している。

道が苫小牧市立中央図書館の北海道、「又三郎の風」、「夢なれどの魔術」など、佐藤翠さんの版画が並ぶ。研究の一書も複数用意している。

中島翠さん（佐藤翠）は、1924年、岩手県花巣町の教師だった齋藤が修業旅行の途次、同年1月に亡くなつた。花巣研究の斎藤征吉が追憶を兼ねて書いている。

隣は齋藤宿泊した白毫寺、時刻表を描いた王製紙苫小牧場などを図書職員手作り左左時代絵図写真資料角で解説している。

葵表記入り  
記念と慶祝　95周年を  
眞涼流（1896）

2019年5月6日（月） 苫小牧民報

市民中央図書館

調べ学習のポイント伝授 利用促進狙ってイベント

市立中央図書館

図書館の活用促進に向けて毎年の時期に開催される「ママスターになろう！」自由研究大作戦を開いた。8組の小学生と保護者が参加し、同館職員から調べ学習の方法やポイントを教んだ。

図書館の活用促進に向けて毎年の時期に開催される「ママスターになろう！」自由研究大作戦を開いた。8組の小学生と保護者が参加し、同館職員から調べ学習の方法やポイントを教んだ。

2019年(令和元年)7月24日(水曜日)

2019年7月24日（水） 苫小牧民報

2019年(令和元年)11月21日(木曜日)

市立中央図書館

## 源氏物語の魅力解説 苦駒大・林教授迎えセミナー

苦小牧市立中央図書館は17日、同館で講義で文化セミナー「源氏物語はなぜ読み継がれるのか」を開催した。市民ら約60人が、苦小牧駒沢文庫教授の林翠さん(5)から紫式部が書いた源氏物語の魅力について学んだ。

市民の文学愛好団体市文化交流センターを発表。源氏物語を読み解く活動をしていふ組の会(山上正代表)との共催。

林さんは、自分が所有する紫式部の描かれた掛け軸を会場で披露。「これは岩山寺(滋賀県大津市)で湖に映った千葉の月を見ながら源氏物語を書いた」と有名な説に基づいて描がれていたと解説。「われわれは源氏物語を知つてはじまらないよう、実際にほ覗んでない人が多い」として、最近の高校の教科書では源氏物語など大学等で必要ない古典の授業は削減されていることを伝え、状況を嘆いた。

それでも作品が成立した約1000年前から読み継がれつらい歴史を易しく解説したことを受け、平安時代のイメージを描き出していく新書がから数多く出ており、理由の一つに分かります。苦駒大・林教授は、源氏物語の魅力について説明する林さん

## アイヌ口承の物語朗読 源牧学芸員が文化的背景解説

【苦小牧アイヌ民族】心満ちまと図書館が開かれたまま物語を紹介した。失崎さば子アイヌ民族の開会式(アイヌのまなしがひ)が24日、苦小牧市中央図書館で開かれ、市民約60人が参加した。アイヌ文化復興拠点「民族共生空間(エコボーラー)」の中橋聰司が、アイヌ民族が持つとして月にまつわる物語アイヌ語を読み、本みを始めた。子供が躍り出かけたところ、笑顔があつた。福島いわ希市の「アクリング」とを面白い。例解は、今後コバク最選は「や」。上では地の生態系に把じた層が主流になるの見方を示す。また、水産運営は経営環境の配慮や外人観察者の持を得ることが必だと言えた。

【内閣官房】  
アイヌ民族の口承文化について説明する美崎さん

2020年2月23日（月）北海道新聞

## 本の修理方法実践から学ぶ

第2回学校図書館  
ボランティア連絡会  
苫小牧市教育研究会主催  
書庫教育研究部会(松井博人  
部会長)は毎日、市内小学校  
校の学生同士が本の修理方  
法について、第2回学校  
図書館ボランティア連絡会  
を市立中央図書館で開いた。

学校図書室もそれぞれ学校図  
書庫で備んぐ本を持ち込み、  
補修を取り組んだ。  
同部会は、学校図書や図書  
館ボランティアの情報交換や  
交流の場として年に数回、同  
連絡会を開いている。学校図  
書室で人気は高まらない  
ため、4年生頃からは、う  
ち子を本の修理方法を学ぶ  
講習会についている。  
この日はほかに、同様で本  
を修理するボランティア団  
体、ルリコール(今成みゆき  
代表の5人から)、製本のり  
や糸継ぎを使った補修、補強  
の方法を学んだ。  
作業では、本を取れたば  
かりで「固定」という言葉  
の意味を学び、「貼り付け  
て固定」で固定して、しわにな  
らないよう規制して伸ば  
ないようにするなど、「ねじる」  
と「くしむ」などの言葉を学  
んだ。持ち込んだ本を手に取  
つ子車に作業進め、表紙  
を修理するシートを貼り付  
けるなどを呼び掛けていた。



本の修理方法を学ぶ参加者

2020年1月23日（木）苫小牧民

## 中央図書館など4施設再開 消毒、換気徹底 市民「ありがたい」

消毒時間は毎日、新型  
コロナウイルス感染拡大  
防止のため午後から臨  
時休館としていた市中央  
図書館などを施設消毒  
した。施設は消毒液を用いて  
消毒液を噴霧して換気を行  
い、換気扇を運転して換気を  
行なった。岩盤幸一館長は「  
消毒液を噴霧して換気を行  
なったので安心して利用でき  
る」と笑顔があつた。

午後は、消毒液を噴霧して  
換気扇を運転して換気を行  
なった。岩盤幸一館長は「  
消毒液を噴霧して換気を行  
なったので安心して利用でき  
る」と笑顔があつた。

## テレビ放送使い修了式 市内小中進級前最後の分散登校



明野小の分散登校で現クラスでは最後のひとときをともにする児童たち



苫小牧市は4日、新型  
コロナウイルス感染拡大  
防止のため午後から臨  
時休館としていた市中央  
図書館などを施設消毒  
した。施設は消毒液を噴霧して  
換気扇を運転して換気を行  
なった。岩盤幸一館長は「  
消毒液を噴霧して換気を行  
なったので安心して利用でき  
る」と笑顔があつた。

午後は、消毒液を噴霧して  
換気扇を運転して換気を行  
なった。岩盤幸一館長は「  
消毒液を噴霧して換気を行  
なったので安心して利用でき  
る」と笑顔があつた。

2020年3月25日（水）北海道新聞